

北海道大学低温科学研究所共同研究集会
氷床-海氷-海洋システムの統合観測から探る東南極氷床融解メカニズムと物質循環変動

日程：2026 年 7 月 14 日（火）～7 月 15 日（水）

会場：北海道大学低温科学研究所 3F 講堂

世話人：溝端浩平（東京海洋大学）、青木茂、平野大輔（北海道大学 低温科学研究所）

7 月 14 日（火）

【JARE 67 報告/JARE68 計画】

13:00—13:05 溝端浩平（海洋大）趣旨説明
13:05—13:35 真壁竜介（極地研）しらせ 67 次報告
13:35—13:50 溝端浩平（海洋大）海鷹丸 67 次報告 & 現状説明
13:50—14:20 溝端浩平（海洋大）海鷹丸 68 次観測計画
14:20—14:50 中野善之（JAMSTEC）しらせ 68 次観測計画
14:50—15:30 ポスターセッション & 休憩

【研究発表】

15:30—16:00 平野大輔（北大低温研）JARE67 トッテン集中観測のハイライト
16:00—16:30 藤井昌和（極地研）Deep basin–trough networks of continental shelf govern ocean access to the Totten Glacier
16:30—17:00 渡辺豊（北大地球環境）パラメタリゼーション技術により分かりつつある南大洋の物質循環の定量的解明
17:00—17:30 総合討論
18:30—20:30 懇親会

7 月 15 日（水）

【研究発表】

08:50—09:10 町田征志（北大低温研）南極底層水の起源水生成域での海氷・海洋物理過程
09:10—09:30 山崎開平（JAMSTEC）Polar Argo の南大洋展開について
09:30—09:50 松田亮（極地研）東南極トッテン氷河沖における原核生物群集の空間的分布
09:50—10:10 Chen Sijun（東大大海研）南大洋における浮遊生物群集の光防御化合物に関する研究
10:10—10:30 前田歩（東大大海研）JARE66 における海水 eDNA/有機物試料を用いた真核生物群集の概要
10:30—11:00 ポスターセッション & 休憩
11:00—12:00 総合討論

【ポスター発表】

中村雅音（東大大海研）Organic Matter distribution in the Indian sector, high latitude of the Southern Ocean
牧野悠（東大大海研）Bottom Water Formation and Carbon Transport along the Antarctic Peninsula Continental Shelf in the Weddell Sea during winter
牧野悠（東大大海研）The study of observation technique of suspended and settling Particles with an event-based vision sensor for understanding the biological pump in waters
鈴木淳平（海洋大）南大洋インド洋セクターにおける海洋熱輸送に関わる海洋内部構造の時間変動
大島慶一郎（北大低温研）Canyon-Trapped Waves and Its Role in the Formation Area of Antarctic Bottom Water off Cape Darnley